

短歌 全16首

秋めきて固い節ぶし解れたる憂きこと忘れ今日を楽しむ  
 放映の自然災害胸痛む平穩無事の産土に感謝  
 蜘蛛のすをこわし「ごめん」と言いて去り見とどけしかな夕の畑ゆく  
 レジ待ちて買い溜めせんと並ぶ人税率八パーの最後の一日  
 十三回忌修せし夜の虫しぐれ遺影の夫としばし聞き入る  
 初めての慶寿の祝い出で見れば白髪の爺黒髪の子  
 招かれし慶寿の祝いありがたし溢る温もり深く身に沁む  
 秩父路の三十四ヶ所霊場の流れくる秋鈴の音憂し  
 生涯を人と平和も慈しむ百年祭の兜太思ふ日  
 料金表見ずとも乗るるSUICA手におのほりさんは嬉嬉と出かけぬ  
 夕餉にとオクラを刻むまな板に五角の星が連なりて行く  
 温暖化強力なりし台風の被害ニュースを見ていて憂ふ  
 先生も生徒もみんな日に焼けて全速力でリレーを競う  
 十五夜の雲間に見える月を見て米のおまるで舌鼓み打つ  
 ライオンズ優勝セールのお店に行く小一時間の道も短し  
 『息災か』 変わらぬ優しいお言葉は遠田先生我が恩師なり


皆野 戸塚喜久雄  
 皆野 村田ハツ代  
 三沢 眞下 杏子  
 三沢 鈴木 貞恵  
 皆野 根岸 詩子  
 皆野 新井 民子  
 皆野 引間 千鶴  
 皆野 新井 葉子  
 皆野 根岸 詩子  
 皆野 藤原マキ子  
 皆野 眞下 杏子  
 皆野 鈴木 貞恵  
 皆野 新井 葉子  
 皆野 根岸 詩子  
 皆野 戸塚喜久雄  
 皆野 浅見 豊子  
 皆野 関根 助市  
 三沢 新井 民子  
 三沢 引間 万亀  
 皆野 下野野 節子  
 皆野 四方田利男  
 皆野 村上ハツ代  
 皆野 打木 昭廣  
 皆野 石原 達也

榎本順江選 投稿数 15句

青空を体育祭が連れてきた  
 (評)秋の大きな行事の体育祭、一番心配なのがお天気です。しかし体育祭は皆の味方でした。素晴らしい青空を連れて来てくれて、青空と体育祭の見事な共演でした。巧みな表現の秀句です。二句目、お寺の境内に様々な顔形をした羅漢さんが彼岸花に囲まれて並んでいる。その花陰の羅漢さんは晩年のおじいさんにそっくり、込み上げる思いに作者はその場をなかなか立ち去れなかつたとの事。やさしい孫の句。三句目、陽を浴びてトンボの群は秋の光となり野を飛び回っています。秋の風情をしみじみ感じ、光を上手く捉えた句です。  
 彼岸花祖父似の羅漢隠れをり  
 陽の中に蜻蛉の群れの光かな  
 猪荒らす母郷や兜太百年祭  
 父母の頼りに恋し虫時雨  
 境界の柵の巨木に椋鳥集う  
 皆野 鈴木 正文  
 三沢 新井 民子  
 三沢 眞下 杏子  
 下野野 浅見 豊子  
 皆野 戸塚喜久雄  
 皆野 引間 千鶴  
 皆野 根岸 詩子  
 皆野 新井 節子  
 皆野 鈴木 貞恵  
 皆野 村田ハツ代  
 皆野 引間 千鶴  
 皆野 根岸 詩子  
 皆野 新井 節子  
 皆野 鈴木 貞恵  
 皆野 村田ハツ代

俳句・短歌を募集  
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して  
 みらい創造課までお寄せください。  
**5日必着**  
 1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。  
 12月号の締め切り:11月11日(月)  
 問合せ みらい創造課 ☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう  
 Happy Birthday



響己くん  
 上の台区  
 関根 幸一さん  
 彩子さん  
 いつも笑顔で元気に育ってね。



宇龍くん  
 出牛区  
 福島 佳紀さん  
 愛利沙さん  
 誕生日おめでとう☆  
 元気いっぱい優しい子になってね!



花奈ちゃん  
 駒形区  
 石黒 広さん  
 里美さん  
 いっぱい食べて大きくなってね。